

[大 切 な 皆 様 に 松 永 建 設 か ら お 贈 り す る ニ ュ ー ス ペ ー パ ー]



Matsunaga Head Line News

[マツナガ・ヘッドライン・ニュース]

〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号 TEL:0120-980-633 FAX:048-798-0075

MATSUNAGA 感動創造建設会社

2020年11月発行 発行元:松永ホールディングス 発行人:松永大祐
www.matsunaga.gr.jp

2020 Autumn Vol.42

[インタビュー] Interview with Matsunaga Staff

共鳴共存

強固なリレーションシップコミュニティを発信していく



[インタビュー] Interview with Matsunaga Staff

強固なリレーションシップコミュニティを発信していく

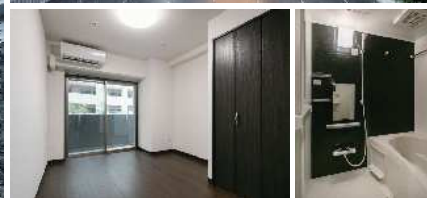
- p02 [PROPERTY & REPORT] 竣工物件
p03 [PROPERTY & INTERVIEW] 竣工物件／小島隆盛
p04 [PROPERTY & INTERVIEW] 竣工物件／佐藤 誠
p05 [PROPERTY & INTERVIEW] 竣工物件／浅田政明
p06 [PROPERTY] 竣工物件
p07 [WELCOME! NEW STAFF] 内定式
p08 [REPORT] 東京タワーインフィニティ・ダイヤモンドフェスティバル閉幕後交歓イベント
[COLUMN] TK1 (Tatsuya Kataoka Racing Invitation)
[COLUMN] 松久社長の男気コラム

須藤 俊氏の絵画が飾られた、松永建設本社のロビー。大胆な構図に迫力あるタッチが素晴らしい作品である。



株式会社松永建設 〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号
TEL:0120-980-633 FAX:048-798-0075 www.matsunaga.gr.jp

PROPERTY [竣工物件]



▶ ROYAL BLOOM 高鼻町 ◀

〈発注者：株式会社 ロイヤルコーポレーション様〉

DATA

☐ 建設地:さいたま市大宮区 ☐ 構造:RC造、地上10階 ☐ 用途:共同住宅

☐ 建築面積:104.91㎡ ☐ 延床面積:858.35㎡



PROPERTY [竣工物件]



► iL Cavallo ◀

〈発注者：T様〉

DATA

- 建設地:東京都北区 □ 構造:RC造、地上3階 □ 用途:共同住宅
□ 建築面積:301,56㎡ □ 延床面積:679,33㎡

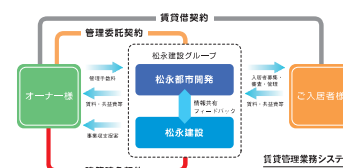
Interview with Matsunaga Staff [インタビュー]



小島隆義
Takayoshi Kojima

PROFILE
社歴: 18年目
趣味: ランニング
好きな食べ物:
唐揚げ

信頼の上で形成されるコミュニティと
松永建設グループのリリースンシップ



松 永都市開発は今年で35年目で主にお客様のお部屋探しや入退きの立会い、建物管理、土地の売買等の仲介全般を行っております。

元々は若様に工場団地を新しく作る際に、開発・企業誘致がきっかけとなり、土地と建物を併せてご提案していく中で、地主様の土地の売買、相続等の税金対策を含んだ業務を松永建設が単独で立ち上げる形で、不動産に特化した松永都市開発が生まれました。

松永都市開発の創設という、地主様を中心とした友の会という約150名程度のコミュニティがあり、税理士を招いての勉強会や日帰り旅行などの親睦会を実施し、地主様との交流を求めております。

松永都市開発は松建設とは別会社にはなりますが、松建設の一部署という立ち位置で業務を行なっております。

松建設との連携、相乗効果にしましては、まず管理しているアパートの入居者様を中心、毎年アンケートを実施しており、お客様の声をまとめた物を松永建設へ共有しております。今回の十中十々の案件は、元々ナリナリで運営していた上場企業です。松永都市開発が地域のリサーチを行い、オーナー様のニーズに応える形で活動を行っており、18年度の間専門施工チームを松永建設に依頼し、グループとして取り組みましたしました。

部署毎に様々な情報・要望が松永建設から松永都市開発に依頼があるので、要望に合わせて都市を調べて把握をしております。

最近では同業間では松永建設を模範として施工し、松永都市開発で管理、入居者の募集を行うなどグループ全体での連携を強化しており、一気通貫で完結できるのでユーザー様・品質・安全・信頼を担保したご提案をさせていただいております。

また会社の地主様からの要望も内容に

仕事をするとする大にしていることは、松永都市開発はグループ会社の中ではお客様との距離が一番近い会社ですので、お客様とのコミュニケーションにおいてレスポンス良く対応することと意識しています。そのレスポンスの速さが信頼につながる私は思っております。地主様とのコミュニケーションの中で、絶大な要望相違が無く、不動産以外の関係でも対応するよう心掛けており、地主様の信頼を大切にしております。

PROPERTY [竣工物件]



▶ まつざわ耳鼻咽喉科 ◀
(発注者：M様)

▶ ウエサカ薬局 東岩槻店 ◀
(発注者：U様)

DATA
☐ 建設地：埼玉県さいたま市 ☐ 構造：W造、地上1 階 ☐ 用途：診療所
☐ 建築面積：231.85㎡ ☐ 延床面積：217.79㎡

DATA
☐ 建設地：埼玉県さいたま市 ☐ 構造：W造、地上2 階 ☐ 用途：薬局
☐ 建築面積：66.55㎡ ☐ 延床面積：124.51㎡



佐藤 誠
 建築事業部営業課4グループ グループリーダー
 Makoto Sato

予期せぬ壁も乗り越える
 グループのつながり

Interview with Matsunaga Staff [インタビュー]

私 が入社したのは6年前で、1年半前に松永建設から総合建設に出向という形でジョインいたしました。松永建設に在籍していた時は、鉄骨造や鉄筋コンクリート造も何棟か経験はあるのですが、現在は、松永建設で請けた木造案件を総合建設で、施工を行っております。気持ちの面では、グループ会社というよりは、総合建設という一つの部署と思って取り組んでおります。連携に関しては、元々私は松永建設に在籍していた為、松永建設の設計部署や営業部署の人と一緒に仕事をしていたので、昔と変わらず細かく密にコミュニケーションをとって行っております。総合建設は現在11名在籍しており、松永建設と比べると規模は異なるのですが、私が松永建設で得た知見や経験を、総合建設内にフィードバックをして会社が良い方向に進むよう、部下の教育に取り組んでおります。直属の部下の教育において気をつけていることは、一人一人が100%の力が発揮できる環境をどうしたら作れるか？と常に自分に問

いながら指導をしております。今回取り組んだ、クリニックは一つの敷地内で薬局が併設しており、松永建設としても、木造でのクリニックはあまり経験のない取り組みでした。今回施工の中で一番苦勞をしたのが、木造でのクリニック内のレントゲン室です。放射線を使う為、鉛で密閉する必要があるのですが、木造での取り組みは過去に経験がなく、松永建設内の当時の仲間にも何度も相談しながら試行錯誤、意見を交わしながら取り組みました。またコロナの影響で緊急事態宣言の発令により、何度も現場を休工せざるを得ない状況があり、予定工期が短縮する自体が発生しました。オープン日は決まっていたので、品質は落とさず工期を詰める作業がかなり大変でした。現場では、コロナ感染者を出してはいけないという責任と、足りない工期、決まった納期という中でしたが、関係各所の皆様の協力の下、大きな問題なくオープン目を迎えたことが最大の喜びになりました。

Interview with Matsunaga Staff [インタビュー]

綜 合建設は鉄骨案件の新築、内外装工事リフォーム、日本蕎麦屋さんの店舗併用住宅の木造案件に携わっております。総合建設の名前に恥じぬよう一件一件、安全・品質を第一に取組んでおります。松永建設との連携に関しては、松永建設の営業部全体会議があり、情報共有を行っております。さらに総合建設内でも毎週木曜日に全体会議を実施し、会議内では案件毎の進捗管理や情報共有を行っております。打ち合わせ、見積りもりの作り込み、現場管理など一貫して作業を行っていく中で、細かく松永建設と総合建設ですり合わせ、連携を行うことによって、双方がプラスになるよう案件を着実に遂行することが相乗効果に繋がると感じております。今回、松永建設からの施工紹介で4月から9月まで、上尾の呼吸器内科クリニック(木造2階建)、上尾の院外薬局(木造平屋建)の2箇所

の新築施工を行いました。施工に当たって気をつけていたことは、現場の土地の特徴として、土の中の水が非常に高い場所になっておりました。4月着工ということもあり、2点強く意識をいたしました。一点目は梅雨の時期も目前に迫っている中で、基礎が完了するまでに埋設物をスピーディーに処理すること。もう一点は、建物の骨組みが完了すると、多くの業者が入りするので、駐車場の整備をし、近隣住民の方々に迷惑がからないように配慮することです。この2点に関しては、滞りなく計画が進められました。色々と施工中は大変でしたが建物完成し、お客様に実際見ていただいたときに大変喜んでいただき、今回の施工に携わったことが大変嬉しく思いました。お客様の笑顔を、次の現場への活力にしたいと思っています。

連携を強化することで
 生み出される相乗効果



建築事業部営業課6グループ グループリーダー 浅田 政明
 Masahiro Asano

PROPERTY [竣工物件]



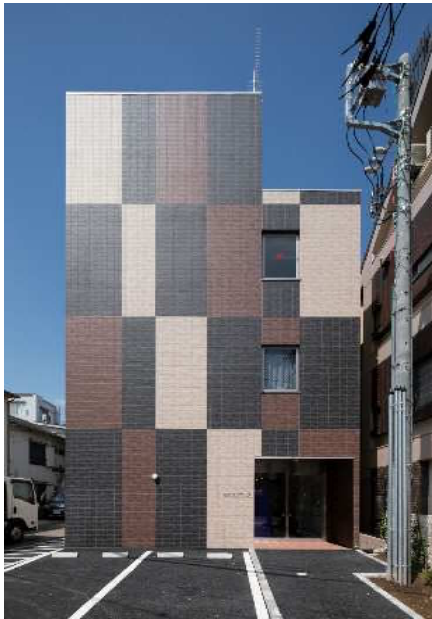
▶ こぐち内科呼吸器クリニック ◀
(発注者：K様)

▶ 楓薬局 ◀
(発注者：株式会社 ベルネット様)

DATA
☐ 建設地：埼玉県上尾市 ☐ 構造：W造、地上2 階 ☐ 用途：診療所
☐ 建築面積：125.04㎡ ☐ 延床面積：185.10㎡

DATA
☐ 建設地：埼玉県上尾市 ☐ 構造：W造、平屋 ☐ 用途：薬局
☐ 建築面積：78.91㎡ ☐ 延床面積：78.25㎡

PROPERTY [竣工物件]



▶ 福岡クリニック ◀

(発注者: 株式会社メディネスト様)

DATA

□ 建設地: 東京都足立区 □ 構造: RC造、3階 □ 用途: 診療所
□ 建築面積: 256.29㎡ □ 延床面積: 775.89㎡



▶ GRANSITE 梅屋敷 ◀

(発注者: PT様)

DATA

□ 建設地: 東京都大田区 □ 構造: RC造、地上7階 □ 用途: 共同住宅
□ 建築面積: 249.87㎡ □ 延床面積: 1516.23㎡

WELCOME! NEW STAFF [新入社員]

2020年10月1日

松永建設グループの内定式を行いました

今年は新型コロナウイルスの影響を考慮し、従来よりも規模を縮小しつ感染予防対策を徹底の上開催いたしました。大勢の応募者の中から選考を勝ち抜いてきた11名の内定者を迎え、「多くの事にチャレンジし、たくさんの失敗や成功を重ねながら、着実に成長して欲しい」と社長から歓迎の言葉が送られました。来年の春、松永建設グループの仲間として迎え入れられることが待ち遠しいです。



▲緊張しつつも、来年への意気込みを力強く言葉にする未来の松永社員。来年から同じ仲間として関与してまいります。



▲先輩社員からも貴重なアドバイスを頂いた内定者の皆さん。その言葉を真実に聞き入っていました。

REPORT [レポート]

東京タワーインフィニティ・ダイヤモンドヴェールMIG器具交換工事

株式会社丸忠産業

地上270mの高所で活躍する松永スタッフ達

2020/12〜2月に行われている東京タワーインフィニティ・ダイヤモンドヴェールMIG器具交換工事。毎月のメンテナンスが生じたので換気システムミニメーション器具交換をしています。さらに、新たな照明器具を取り付けるという内容です。11月からは210台換気システム交換します。

前回は工事していたことは、作業エリアの高さが270mと経験したことのない高さでの作業でしたので、立っているだけでも足が揺らぎ出していた。それと東京のランドマークでの作業ということで、小さなミスも許されない案件。作業の正確性、安全性等、何重にもプレッシャーを掛けて緊張させて頂く事となりました。そして計画段階から慎重を極め、監視中もずっと緊張感の中で仕事をしました。



TOPICS [トピックス]

TKRI (Tatsuya Kataoka Racing Invitation)

雨の中の激闘！デビュー戦は惜しくも6位

松永建設が応援している、片岡龍也選手が立ち上げたレーシングチームTKRI (Tatsuya Kataoka Racing Invitation) が、ビレリ・スーパー耐久シリーズ2020第2戦「SUGOスーパー耐久3時間レース」のGT-4決勝レースが、スポーツランドSUGOで開催され、ST-Zクラスに参戦したTKRIは激闘の結果惜しくも6位に入賞という結果でしたが、次回に繋がる結果を残した。このクラスでは、メルセデス、アウディなどGT3でもお馴染みのメーカーのマシンが顔を並べます。



TKRI (Tatsuya Kataoka Racing Invitation)

第3戦は、順調な滑り出しで5位

第2戦を6位入賞で終え、順調な滑り出しをみせたTKRI (Tatsuya Kataoka Racing Invitation)。迎える、第3戦の舞台は、岡山県の岡山国際サーキット。結果はTKRIは前回からひとつポジションを上げ、5位でフィニッシュ。2戦連続の入賞を果たした。もちろん課題はまだあるが、チームとしてさらにひとつステップを進めることになった。



COLUMN [コラム]

松永社長の
男気コラム

「いきつくところ、やはり企業は人なり」

あつという間に夏も終わり、すっかり秋の気候になりました。

この度、弊社グループ6社全ての決算月を10月末に統一化し、さらなるグループシナジー戦略の確立と生産性の向上を目指すことにしました。コロナ禍における世界経済の大激震の環境下において、より柔軟でよりスピード感ある組織を構築していく所存です。

そのような中、10月24日市民会館にて第58期経営計画コンベンションを開催しました。

そこで社員の皆さんに伝えた言葉をここでも記したいと思います。

プロ野球中日ドラゴンズを優勝に導いた落合監督の采配の話です。

落合監督は、シーズンが始まるにあたり、選手に今シーズンの方針として以下の通り伝えました。

- ① 今いる選手みんなが10%成長すれば、我々は優勝できる。
- ② みんなが10%成長出来るのであれば、大型補強はしない。現状のメンバーで戦う。
- ③ ただし、過去の実績に囚われることなく、優秀な選手は二軍選手であろうとも機会を与え登用する。チーム内で切磋琢磨する。
- ④ スター選手は不要。全員が10%の成長を目指し優勝する。

企業経営において、社員の能力をいかに発揮させることができるかが非常に重要であります。落合監督の方針は、日本型経営、特に経験工学の強い

建設業など、匠の世界においては、びったりはまるものと思います。

弊社の第58期の経営方針については、次号にて触れるつもりですが、一言で申し上げますと「技術力の向上」であります。

お客様との信頼の基盤は、品質であり、技術力。

今一度、技術力向上に全社を挙げて取り組んでいく所存であります。

そして、その取り組み手法も本社による管理型ではなく、現場での実践指導をメインとしたマネジメントを主として強化します。

山本五十六連合艦隊司令長官の言葉

「やってみせ 言っただけで聞かせて させてみせ ほめてやらねば 人は動かじ」この精神をもとに、現場ありきで進めて参ります。

コロナ禍の先行きの不透明な時だからこそ、社員一人一人と向き合い、会社の基盤である技術力向上に努め、強くて良い会社づくりに取り組んでいきたいと考えております。

代表取締役社長
松永大祐

